

## ジオパーク秩父 祝！日本ジオパーク再認定

山岡 勇太

ジオパークとは、“Geo(大地・地球)”と“Park(公園)”を組み合わせた言葉で、「地球の公園」を意味します。秩父地域の1市4町から構成されるジオパーク秩父は、2011年に国内で15番目に認定された日本ジオパークです。ジオパーク秩父の魅力を一言で表すならば、それは「多様な地質・地形」といえます。日本列島の土台をつくる古い岩石から、荒川が削った新しい地形まで、幅広い時代の様々な地質現象をみることができます。そして、それらが育んだ多様な動植物や文化が息づく地でもあります。

認定以来、ジオパーク秩父は、地球の営みが育んだ“地域の宝もの”を大切に守りながら、教育や観光に活かす取り組みを続けてきました。当館においても、認定当初からジオパーク活動に参画しており、地域と一体となって活動を展開しています。こうした取り組みが評価され、2022年1月28日に開催された第44回日本ジオパーク委員会において、ジオパーク秩父が日本ジオパークに再認定されました。今回は、ジオパーク秩父が行う多様な取り組みの一部をご紹介します。

### (1) 地域の宝ものを守る

秩父地域には、地球の活動が生み出した地形や地質が多く点在しています。例えば長瀬町にある岩畳は、約7,000万年に地下20~30kmで形成された結晶片岩であり、地下深くの岩石が地表で見られる場所として、古くから多くの地質学者を惹

※ジオパークでは、4年(条件付き再認定の場合は2年)に一度、再認定のための審査が実施されます。



写真1 ジオパーク秩父 第1回保全計画部会

きつけてきました。ジオパークでは、こうした場所を「ジオサイト」と呼んでおり、地域の宝ものとして保全活動を行っています。

2021年には、ジオパーク秩父保全計画部会において、エリア内にあるすべてのサイト(44カ所)を網羅した「サイトカルテ」が作成されました。サイトカルテには、その場所の科学的重要性をはじめ、保全の上での現状や課題などが簡潔にまとめられており、関係者が各サイトの現況をひと目で把握できる仕組みになっています。今後は、より多くの人々が主体的に保全活動に関わることができるよう、カルテの活用を計画しています。

### (2) 大地の守り人を育てる

ジオパークの活動において、教育はたいへん重要な意味をもちます。なぜなら、自分たちの地域にある宝ものを守り後世に伝えるためには、まずは宝物の価値を知り、それを大切に思ってもらう必要があるからです。

自然の博物館では、毎年数多くの学校へ講師を派遣しています。中には、ジオサイトでの出前授業もあり、自然を切り口としたアプローチで子ども達にふるさとの魅力を発信しています。例えば、小鹿野町にある国指定天然記念物「ようばけ」では、約1,550万年前の海底で堆積した地層や、当時の海に暮らした生き物の化石を観察することができ、毎年多くの野外学習が実施されています。出前授業の後には、「自分たちの身近な場所で化石が見つかることに驚いた」、「今度は家族と来て



写真2 ようばけで行われた出前授業の様子



写真3 ジオツアーの様子 (ジオパーク秩父より提供)

みたい」などの声が上がっており、身の回りの自然に対する興味を持つきっかけとなっています。こうした活動を通して、子どもたちが地域にある宝ものの存在に気づき、楽しみながらその価値を学ぶことで、豊かな郷土愛を育ててほしいと考えています。

### (3) 秩父の地で“地球”を楽しむ

ジオパーク秩父では、保全や教育にとどまらず、地域を独自の視点で楽しむための活動を行っています。中でも代表的なものが、地域を知り尽くしたガイドと現地を訪れる「ジオツアー」です。ジオツアーでは、自然や人々の歴史・文化、美しい景観や美味しい食などを切り口に、それらを育んだ地質・地形との繋がりを知ることで、地域を新たな視点で楽しむことができます。ジオパーク秩父では、地域内の NPO 団体がガイド付きツアーを実施しており、毎年多くの方をご案内しています。

また、コロナ禍の現在においては、現地を訪れることなくジオパーク秩父を楽しむためのコンテンツも用意されています。2021年には、ジオパー



写真4 ジオパーク秩父公式動画「秩父ふしぎ発見 !!」



写真5 企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう！」

ク秩父の楽しみ方を伝える公式ガイドブック「秩父に息づく大地の記憶」が出版されました。本の中では、ジオパーク秩父の基本情報はもちろん、各サイトの科学的重要性やアクセス方法などが分かりやすくまとめられており、これまで地学に触れたことのない人にも親しみやすい内容となっています。また、2020年より「秩父ふしぎ発見 !!」と題した動画企画がシリーズで作成され、公式 YouTube チャンネルにて公開されています。この動画は、出演者が秩父地域の各地を冒険しながら、その不思議や魅力を発見していくというもので、これまでに全2話が作成されました。中には自然の博物館の学芸員が出演する回もあり、長瀬の地質の見どころを分かりやすく解説しています。

この他、自然の博物館では、令和3年度企画展「ジオパーク秩父へ出かけよう!」、講演会「ジオパーク秩父10年間の歩み」などを実施し、ジオパークプログラムや秩父の魅力を多くの来場者に紹介しました。

このような機会を通して、ジオパークという新たな視点で秩父を訪れば、これまで知らなかった新たな発見や驚きがあるかもしれません。

### (4) おわりに

ジオパーク秩父の理念は、地域に生きる人々が地球の遺産を誇りに思い、上手に活用しながら未来へと繋いでいくことです。そして、これらの様々な活動を通して、持続可能な地域の実現を目指しています。自然の博物館もそうした地域に生きる仲間として、これからも自然の魅力を発信していきます。

(やまおか ゆうた・学芸員)